

ナサニエル・ホーソン研究  
Working Checklist: 2006-2007

川村幸夫 (東京理科大学)  
大野美砂 (千葉商科大学)  
奈良裕美子 (明治大学・非)

### I. Books

小林憲二『ホーソンとその時代』立教大学アメリカ研究所(2006年)  
武藤脩二・入子文子(編著)『視覚のアメリカン・ルネサンス』世界思想社(2006年)  
Ano, Fumio. *Miscellaneous Encounters: Collected Essays on Nathaniel Hawthorne*,  
Shohakusha, 2007.

### II. Bibliographies

### III. Translations

高尾直知(訳)ロバート・L・ゲイル著『ナサニエル・ホーソン事典』雄松堂(2006年)  
平井呈一(訳)ナサニエル・ホーソン著「ラパチャーニの娘」『怪奇小説傑作集』  
東京創元社(2006年)

### IV. Articles

青井格 「心理から神話へ——ナサニエル・ホーソンの「ロジャー・マルビンの埋葬」」  
『かやのもり』5 近畿大学産業理工学部かやのもり・研究報告論文編集委員会  
(2006年) pp. 51-56.  
入子文子 「小さな赤い手——<あざ>の図像学——」『視覚のアメリカン・ルネサンス』  
世界思想社(2006年)pp. 4-29.  
岩田強 「自己のなかの他者：ホーソンと他者性」『英米文学』25 京都光華女子大学  
(2006年)pp. 1-20.  
大杉博昭 「ことばの画家ホーソン——視覚芸術との出会いと展開——」『視覚の  
アメリカン・ルネサンス』世界思想社(2006年)pp. 161-79.  
尾曲巧 「*The Scarlet Letter* 研究——序章「税関」と物語に見るピューリタン社会」『国際

- 人間学部紀要』12 鹿児島純心女子大学国際人間学部(2006年)pp. 31-49.
- 笠原慎一郎 「*The House of the Seven Gables*におけるHepzibahの役割」『Evergreen』26  
昭和女子大学大学院英米文学研究会(2006年)pp. 17-34.
- 城戸光世 「ホーソンとコール——モラル・ピクチャレスクな風景」『視覚の  
アメリカン・ルネサンス』世界思想社(2006年)pp. 141-60.
- 古平ユキ 「"The Wild Woman"と"My Little Wild-Flower"——「痣」のジョージアナと  
ソファイア・ホーソン」『Tsurumi Review』36 鶴見大学英語英文学会(2006年) pp. 17-30.
- 庄司宏子 「共感とメスメリズム——『ブライズデール・ロマンス』に見られるセンチメンタリズム  
の欲望」『アメリカ文学』67 日本アメリカ文学会東京支部会(2006年) pp.9-17.
- 「ホーソンの『緋文字』に現れた共感のダイナミズム」『成蹊英語英文学研究』10  
成蹊大学文学部学会(2006年) pp. 103-11.
- 鈴木敦巳・日夏隆 「ホーソン・ジェイムズ・エリオット」(上・下)『中日本自動車短期大学論  
叢』  
36 中日本自動車短期大学(2006年)pp. 51-59.
- 西前孝 「"The Birth-mark"を読む——(擬似)科学のアレゴリー」『Persica』33 岡山英文学会  
(2006年)pp. 43-53.
- 西山里枝 「*The Marble Faun*における死と再生」『英米文化』36 英米文化学会(2006年)  
pp. 25-42.
- 萩原力 「1850年代のホーソン批評(2)『ブライズデイル・ロマンス』の場合」『専修人文論集』78  
専修大学学会(2006年)pp. 215-25.
- 「ナサニエル・ホーソン——芸術的靈性の視点から」『専修人文論集』80 専修大学  
学会(2007年)pp. 79-95.
- 藤吉清次郎 「白いアメリカを求めて——*The House of the Seven Gables*論」『活水論文集：  
英語学科編』49 活水女子大学(2006年)pp. 15-28.
- 真木彰子 「Nathaniel Hawthorne 研究 "The Gentle Boy"の底流にあるもの——母への回帰」  
『鶴見英語英米文学研究』7 鶴見大学・鶴見大学大学院(2006年)pp. 39-63.
- 増永俊一 「歴史と解釈——ホーソン作品における歴史性をめぐって」『エクス』4 関西学院  
大学経済学部(2006年) pp. 69-85.
- 「ホーソンと歴史と宗教と——『ロジャー・マルビンの埋葬』とその歴史性——」  
『キリスト教文藝』22 日本キリスト教文学会関西支部(2006年) pp. 119-36
- 松阪仁伺 「ホーソンの『ブライズデイル・ロマンス』と語りの問題」『兵庫教育大学研究紀要』28  
兵庫教育大学(2006年)pp. 63-71.
- 水野眞理 「挿絵は誰に何をみせるか——ホーソン『おじいさんの椅子の全歴史』の場合——」  
『視覚のアメリカン・ルネサンス』世界思想社(2006年)pp.30-53.
- 山形真紀 「ナサニエル・ホーソン『緋文字』におけるパールの役割」『Otsuma Review』39  
大妻女子大学(2006年)pp. 201-08.
- Ewick, Susan. "Between Nostalgia and Exoticism in Nathaniel Hawthorne's *The Blithedale  
Romance*" 『英米文学評論』52 東京女子大学英米文学研究会(2006年)pp. 1-19.

Ramsey, David S. "Narrative Strategies in *The Marble Faun*" 『言語文化論集』 27 名古屋大学 (2006 年) pp. 201-19.

## V. Reviews

佐藤光重 『ホーソン・《緋文字》・タペストリー』 (入子文子著) 『アメリカ研究』 40 アメリカ学会 (2006 年) pp. 209-14.

高尾直知 『時の娘たち』 (鷲津浩子著) 『英文学研究』 83 日本英文学会 (2006 年) pp. 192-96.

成田雅彦 『視覚のアメリカン・ルネサンス』 (武藤脩二、入子文子編著) 『英語青年』 152(4) 研究社 (2006 年) pp. 51-52.

—— 『ホーソン・《緋文字》・タペストリー』 (入子文子著) 『アメリカ文学研究』 43 日本アメリカ文学会 (2006 年) pp. 103-09.

丹羽隆昭 『ホーソンの軌跡——生誕二百年記念論集——』 (川窪啓資編) 『アメリカ文学研究』 43 日本アメリカ文学会 (2006 年) pp. 122-28.

野田研一 『時の娘たち』 (鷲津浩子著) 『アメリカ文学研究』 43 日本アメリカ文学会 (2006 年) pp. 182-87.

## VI. Essays & Miscellanies

阿野文朗 「仙台支部研究会」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 15-16.

入子文子 「関西支部研究会」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 17.

川村幸夫 「資料室だより」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 19-20.

倉橋洋子 「中部支部研究会」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 16-17.

高尾直知・中村文紀 「国際渉外室だより」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 20.

高橋利明 「事務局だより」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 20-21.

—— 「東京支部研究会」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 16.

當麻一太郎 「会長挨拶」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 1.

—— 「ソファイアとユーナ、ホーソンのふところへ」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 8-11.

乗口眞一郎 「九州支部研究会」 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 17-18.

Fujisawa, Tetsuya. "Narrative Strategy." [Workshop: Reading "Ethan Brand"] 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 3-4.

Hiraishi, Takaki. "Hawthorne: Mesmerism and the Individual." 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 5-7.

Horikiri, Hirofumi. "Brand's Eye." [Workshop: Reading "Ethan Brand"] 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 4.

- Inoue, Hisao. "Hawthorne and His Children." [Symposium: Hawthorne and Family] 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 8.
- Komiyama, Mamiko. "The Stabilization of Family History as a Pictorial Record." 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 2.
- Kurahashi, Yoko. "Hawthorne's Image of Split Fathers." [Symposium: Hawthorne and Family] 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 7.
- Nakanishi, Kayoko. "Hawthorne's Ironic Bacchus in *The Blithedale Romance*." 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 2.
- Saito, Sachiko. "Family Disruption in 'The Hollow of the Three Hills'—Mother as the Inmost Center of Family Circle—." [Symposium: Hawthorne and Family] 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 7.
- Shimbori, Takashi. "Is Ethan Brand the Worst Sinner That Is Never Saved?" [Workshop: Reading "Ethan Brand"] 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 4-5.
- Takahashi, Toshiaki. "Reading 'Ethan Brand': Ethan, Ahab and 'the Unpardonable Sin.'" [Workshop: Reading "Ethan Brand"] 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) p. 3.
- Takemura, Kazuko. "What if...: Life, People, Society." [Book News] 『NHSJ Newsletter』 25 (2007 年) pp. 11-14.